

ースクール」への支援形態はどうか、といった質問があり、これに対し「ちーとも」の現状やサマースクールについての説明があった。また2017年事業経過報告の中で愛媛大会の際に台風により中止と記述されている市民講演会は、四国支部総会にあわせて12月17日に開催予定であることが紹介された。

これらの意見をもとに4月の理事会に再提案されて、総会に提案する最終案とする。

以上

2018年1月20日
一般社団法人日本地質学会
理事会議長 向山 栄
理事会副議長 佐々木和彦
代表理事：会長 渡部芳夫
(以下理事氏名省略)

2017年度第6回執行理事会議事録

期 日：2017年12月2日（土）10:30～12:30
場 所：北とびあ901会議室

出席者：渡部会長 松田副会長 齋藤常務理事 安藤 岡田 小宮 坂口 杉田 内藤 辻森 西 中澤 平田 廣木 山田（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：田村、緒方

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者16名、委任状1名、合計17名の出席。

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. 巡検と旅行業法に関して（法務委員会 山路、斎藤）

山路法務委員長から、巡検実施における旅行業法との関係について高木顧問弁護士に質問し、高木弁護士から関係官庁に確認をとってもらった。その結果を検討し、案内者の経費（旅費、宿泊費）を参加費で賄うこと、参加者が最少催行人員より多い場合にできる余剰の扱い、案内者の謝金の扱いなどについて弁護士に再確認することとした。

2. 山本副会長逝去に伴う件

・現状では副会長の欠員補充規定がないこと、残任期間は松田副会長がカバーすることとして、山本副会長の後任を補充しないことを理事会に提案する。

・会長、副会長に欠員が出た場合の規則整備を総会までの課題とする。

3. 三賞選考についての選考検討委員会委員の選出1名

千々和一豊会員（山口大教育）を選出し、本人の承諾を得たうえで選考委員会に推薦する。*後日、千々和会員からの承諾を得た。

4. 理事会審議事項および資料の確認

向山議長が欠席のため、佐々木副議長とともに、午後の理事会運営についての確認をした。

5. 2018年度総会日程について確認

5/19の開催ならびに新年度理事会等のスケジュールについて確認した。

II 報告事項

1. 全体的報告

1) 山本高司副会長は11月21日、急逝された。山本副会長が11/11の執行理事会に出席された以降逝去されるまでの経緯が会長から報告された。

2. 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1) 兵庫県立人と自然の博物館より記念フォーラム「日本の恐竜時代を探る！」(2/18)の後援依頼を承諾。

2) JSE2017（高校生科学技術チャレンジ）の最終審査と表彰式の案内（12/9-10）←欠席

3) ㈱リバネスより「サイエンスキャッスル2017」（11/19-12/23）の後援依頼を承諾した。

4) 東北大学東北アジア研究センター公開講演会「玉—その起源と東北アジア先史の「石」文化—」の後援依頼←資料回覧をして承認

<会員>

1. 今月の入会者

正会員（1名）：金本美流

2. 今月の退会者

正会員（2名）坂井 卓、小川 誠

3. 逝去者

正会員（2名）：磯部重光（4/6）・山本高司（11/21）

4. 2017年11月末日会員数

賛助：28、名誉：57、正会員：3658（正会員：3460、正（院割）会員：184、正（学部割）会員：14）合計 3743（昨年比 -58）

5. 3月末退会予定者（31名）

<会計>

1. 愛媛大会の収支は、黒字となり、助成金は申請辞退書を提出した。

2. 科学技術振興機構（JST）から著者抄録使用料（地質学会の場合は地質学雑誌分を提供）について段階的な値下げの後、無料提供となる通知があった。

1抄録 現行-2018/9：400円、2018/10-2019/3：300円、2019/4-2020/3：150円、2020/4～：無料提供

3. 広報部会：広報委員会（坂口・小宮・内藤）

・ジオルジュ 2017年後期号を発行。

・ジュンク堂で開催（11/1-11/30）の日本地質学会フェアが好評裏に終了、これについては後日News誌で報告をする。

4. 学術研究部会（岡田・山田）

(1) 行事委員会（岡田）

1) 愛媛大会参加者数：763名

2) 札幌大会関係

・記念シンポジウム会場を確保済み、大学内

の講堂を期間中（3日間）400名定員、会場費等の見積もりを受領した。

・情報展の開催準備も進行中、9/7-9（金土日の3日間、金曜は学会と重なる）に開催、会場（かでの2・7）

(2) 国際交流委員会（井龍）

特になし

(3) JIS、標準担当（中澤）

特になし

5. 編集出版部会（中澤・田村・小宮）

(1) 地質学雑誌編集委員会（山路編集委員長、中澤担当）

1) 編集状況報告（11月30日現在）

・2017年投稿論文 101編 [総説33（和文33）・論説40（和文40）・報告11（和文10、英文1）・ノート2（和文2）・講座2（和文2）・口絵5（和文4、英文1）、巡検案内8] 査読中：45、受理済み：16（うち125特集号7）

・投稿中の特集号（125ではない）：2件

①「富山トラフと周辺部の堆積作用と後背テクトニクス」世話人：高野 修ほか

②「三次元地質モデル研究の新展開：その2」世話人：木村克己ほか

・123巻11月号（通常号）：論説3、報告4（合計73ページ、12/4発送予定）

・123巻12月号（通常号）：総説1、論説2、報告2、ノート1（合計約60ページ、入稿準備中）

2) 125周年記念特集号状況

3) 地質学雑誌の投稿推移について

4) 地質学雑誌オープンファイル掲載細則の改正について：前回審議した結果の修正をし、理事会にて審議に付す。

(2) アイランドアーク編集委員会（田村）

1) 編集状況報告（資料のみ）

(3) 企画出版委員会（小宮）

1) 子ども夢基金の作業進捗状況報告を理事会で行う。

6. 社会貢献部会（平田・杉田・廣木・辻森）

特になし

7. ジオパーク支援委員会（平田）

・JGNより同運営会議に天野支援委員長の参画要請を受け、とりあえず年度内の参画について承諾し、その後は支援委員会内で検討のうえとした。

8. 地学オリンピック支援委員会（平田）

9. 県の石支援委員会（辻森）

・出版作業状況は、写真やイラストなどの収集に伴い精度の点で、やや離航している

以上

2018年1月20日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長（代表理事）渡部芳夫
署名人 執行理事 斎藤 眞